

苫小牧市立清水小学校学校だより

清水の子



『未来を創造する
清水の子の育成』

◇学びを広げる子
◇思いやりあふれる子
◇たくましさみなぎる子

第13号 令和3年3月24日発行

TEL 33-7285
simizu-es1@hokkaido.school.ed.jp

1年間ありがとうございました。そして清水小学校のみなさんへ



校長 堀田 稔

卒業生の皆さん卒業おめでとうございます。6年間の小学校生活は、とても長く感じたことと思います。そして、在校生の皆さん進級おめでとうございます。皆さんが毎日学校に通い、多くの人々と接して、何を学び、何を得たのか、また、今後の社会という集団の中の生活や学びで何を得てほしいのか、1年の締めくくり清水小学校の子ども達への私の願いを記します。

○吉田松陰という、昔学校を作った人がこんなことを言っています。（小学生用に簡単に要約）

「人は、信じている人、好きな人の話しか聞き入れない。そして、色々な情報も話も世の中が変わったら、大切なものがかわって、役に立たなくなる。どんな世の中になっても、役に立つのは「人間力」という力である。」

吉田松陰の作った学校の教育の中心が「人間力を高める」ことにあったからこそ、そこで学んだ人々が大成功して幸せな人生を過ごしたのだそうです。

人生の中で「人間力」が大切だと昔から言われていたのがわかります。

○人間力ってなに（小学生用に簡単に要約）

日本の国は「社会を構成し運営するとともに、自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力」を「人間力」と言っています。難しいですね。簡単に言うと

- ・自分で自分を怒ったり、ほめたり、我慢できたりする力をつけているか。
- ・友達や周りの言う人の話を聞くだけでなく、わかろうとする力をつけているか。
- ・周りの人と、上手にお話をしたり、聞いたりすることができるか。

○人間力をつけるために（小学生用に簡単に要約）

多くの研究者がいろいろなことを難しい言葉で言っています。大人になったら読んでみてほしいと思いますが、人間力をつけるためにがんばることは

- ・いっぱいべんきょうして色々な知識を得て、自分で考える力をつけていくこと。
- ・多くの友達や人と自分の考えをはなし、友達の考えをしり、わかろうとすること
- ・なんでもやってみよう、自分の思い通りでなくてもがまんしよう、周りのみんなが納得して、自分の思い通りになるようにするには、どうしたらよいかかんがえながらこうどうすること。

「人間力」が高い人は、他の人の幸せを願い、他の人のために自分が動いたりします。また、自分はこんな人間になろう、と努力をするそうです。そうでない人は「自分！自分！」と自分だけを大切にして「自分はどんな人間か」考えないそうです。コロナ感染症が起こったり、何があるかわからなかったりする時に、家庭はもちろんのこと、学校や社会という集団の中で「人間力」をたくさん身につけてほしいと考えています。

近年「夢はない」「まだ決まっていない」という子ども達が増えています。夢とは職業だけではなく、どんな人になりたいかも夢ですし、一つだけではなく、数多く持つこともとてもいいことだと考えます。保護者の皆様には、子どもたちが明るい夢を持つために、ぜひ、ご家庭で「将来に向けて」のコミュニケーションを図っていただけたら幸いです。

この1年間、清水小学校にお向けいただいた、保護者・地域・関係機関の皆様のご理解、ご支援、ご協力に心より感謝申し上げます。次年度もどうぞよろしくお願いいたします。